



「三人十色」とは、
世界を駆ける和楽器奏者
内藤哲郎(和太鼓)、
木村俊介(笛・津軽三味線)、
小野越郎(津軽三味線)の
三人からなる「三人十色」。
自然した人達のライブは
回を重ねることに完成度を増し、
和楽器の新しい可能性を切り拓く。

とき

4月23日(火)

開場17:30

開演18:00

ところ

織本屋

徳島県美馬郡つるぎ町

貞光字町83-2

チケット

一般2,000円

予約・問合せ

090-7844-0374

sskkami7@yahoo.co.jp

(上井)

TETSURO
NAITO



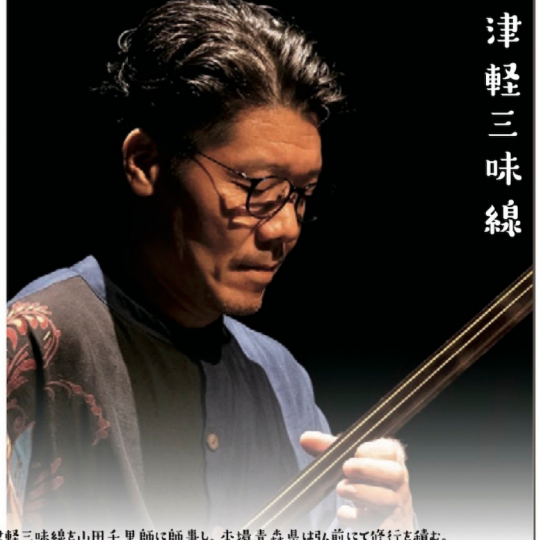
和太鼓

◆内藤哲郎

02年春まで佐渡を拠点として和太鼓集団「鼓童」に在籍。在籍中は演奏のみならず作曲や演出などの評価も高く、CDにも数多くの名曲が残されている。その後独立。持ち前の技術や独自のセンスを活かし、角松敏生、DJクラッシュ、ソウルブラフ・ユニオン、また吉田兄弟など数々のミュージシャンとのレコーディングやツアーに参加し、ジャンルにとらわれない幅広い活動を展開している。一方で「日本的なものは？」という本質的な問いかけに真摯に向き合い、独奏という形をもって和太鼓という極めて原始的な楽器も駆使した表現やその魅力・可能性を追求し続けている。

(内藤哲郎website) <https://tetsuronaito.com>

ETSURO
ONO



津軽三味線

◆小野越郎

秋田県仙北市生まれ。16歳より津軽三味線と山田千里師に師事し、本場青森県は弘前にて修行を積み、劇団わらび座の三味線奏者として活動の後独立。その後宮城県を拠点に、伝統曲・自作曲と織り交ぜたソロ演奏活動を開始。世界的な民族音楽フェスティバル「WOMAD」とはじめ、これまでに20ヶ国以上の音楽祭などに招聘出演し好評を得る。津軽三味線の持つ力強さや独特のリズム・音色の多彩さを基にした自作曲にも定評がある。またエフェクターやループマシンを使った演奏表現も得意とし、様々な音色を駆使しながら独自の表現を求めて創作活動を続けている。

SHUNSUKE
KIMURA



笛・津軽三味線

◆木村俊介

和楽器奏者(笛・三味線他)として活動する一方、作曲・音楽監督等を行う。演劇や舞踊など、様々な舞台の音楽を担当する他、自主公演では、国内外からの多彩なゲストと共に、文学・絵画などもモチーフとした斬新かつ独創的な作品を発表し続けている。これまでに、世界35ヶ国にて演奏。

20年より、エッセーとCDによる会報制季刊誌「音之文」(オトノフミ)を発行。

22-23年演劇クラブ「座」の舞台「ハーンの面影」『浜田宏介三部作』等の音楽を担当。

23年カヤガムの本 淳明氏との日韓定期開催LIVEプロジェクト「鶴の橋の上で」とスタート。